
CSR

Report 2011

Summary

Social and Environmental
Report

LIVING TOGETHER



京セラミタを支える、全ての皆様と

京セラミタを支える全てのひと、共に生きる(LIVING TOGETHER)こと。「社会との共生」、「世界との共生」、「自然との共生」という経営思想が、京セラミタの企業活動の基本です。コミュニティの一員として、地域の活動に積極的に取り組むこと。グローバルに事業を展開する企業として、現地の法令を順守することはもとより、ステークホルダーの要請に応えること。

製品のLCAを通じて環境負荷を低減するだけでなく、さまざまな生物の生息環境を守ること。それらの活動の中から生み出される地球にやさしい製品をお客様に使っていただき、お客様の声から更に改善を積み重ねていく、この活動を永遠に継続することによって、お客様や従業員、近隣の皆様に認められ、成長する企業でありたいと思います。

CONTENTS

CSR Report 2011

Social and Environmental Report

● 編集方針	3
--------	---

● COMMITMENT	4
--------------	---

特集

● お客様の声を反映したものづくり	6
-------------------	---

スマート MFP開発ストーリー

特集

● 未来を担う子どもたちのために	10
------------------	----

CSRマネジメント

● 京セラミタの経営に関する基本的な考え方	12
● 京セラミタグループのCSR理念/CSR活動行動方針	13

CSR活動ハイライト

● お客様のために	14
● お取引先とともに	17
● 社員とともに	18
● 社会貢献への取り組み	20
● 環境配慮製品の開発	22
● 環境活動	24
● 事業概要	26

編集方針

京セラミタの経営理念、および社会的責任の考え方と活動内容について、ステークホルダーの皆さまにご理解いただくために、毎年「CSR報告書」を発行しています。2010年度からは、Webでの報告を主体とし、本電子版冊子(pdf)ではその概要を簡潔に報告し、ウェブサイトに掲載しています。

本年の電子版冊子(2011年版)では特集を設け、お客様目線での商品開発への取り組みと青少年の育成に注力する社会貢献活動に焦点を当て、当社の企業姿勢をご紹介します。環境データ等の詳細はwebをご覧ください。

対象範囲

本CSR報告書の対象組織は京セラミタ株式会社とその連結対象子会社ですが、一部の記事、トピックスに関しては連結対象子会社傘下の現地法人も含めています。2009年1月に京セラミタ株式会社の連結対象子会社となったトライアンフアドラー社(Triumph-AdlerAG:ドイツ)に関しては、売上高と従業員数のみを含めています。

■対象期間

2010年4月1日～2011年3月31日

(一部のトピックスについては対象期間外を含む)

■発行日

2011年10月

■制作

京セラミタ株式会社
CSR推進本部 CSR推進部

CSR経営を追求し、 持続可能な社会の実現と グローバルな環境保護に貢献します。

取締役 兼 専務執行役員
CSR推進本部 本部長

田川 芳博



共に生きる LIVING TOGETHER

京セラミタは、「社会との共生」、「世界との共生」、「自然との共生」という経営思想を企業活動の基本としています。

「社会に良し」、「世界に良し」、「自然に良し」というプリミティブで真正直な考え方をもとに、全従業員が真剣に業務に取り組み、全身全霊で素晴らしい製品を生み出し続けたいと考えています。そして私たちの製品をお客様に提供し、さらに改善を積み重ねるサイクルを繰り返すことにより、お客様や従業員、近隣の皆様や関係する方々に認められ、成長する企業で有り続けることを目指しています。

●●●「社会との共生」「世界との共生」

高度経済成長の時代から成熟した経済の時代に移行するとともに、人々の価値観が多様化し、「安全から安心へ」という言葉であらわされるように、単に高



性能な製品を提供するだけでなく、お客様や市場との対話、情報の公開など社会からの信頼を得るための活動が大切になっています。

社会の動向、要望を理解し、積極的に対応することが企業活動にとって重要であり、それらを継続的かつ日常的に取り組むことがCSR経営の深化であると考えています。

グローバルに事業を展開する当社は、現地の法令を順守し、よき企業人であるため、経営の原点である「京セラフィロソフィ」を共通の企業倫理、規範のベースとして、全世界の事業所や販売会社にも浸透させて経営を行なっています。

また私たちは各国の社会、コミュニティーの一員として地域の環境保護活動や社会貢献活動などにも積極的に取り組んでまいります。

●●● 「自然との共生」

昨今、頻発する異常気象は地球温暖化の脅威が間近に迫っていることを示しておりまた自然環境の破壊により、そこに生息するさまざまな生き物にも絶滅の危機が迫っています。これらの緊急の課題に対して、企業としてできることは何かを真剣に考え環境負荷を低減するだけでなく、さまざまな生物の生息する環境を守るための活動にも取り組んでまいります。

企業活動を通して持続可能な社会の実現に貢献する。

●●● エコシスコンセプト

当社の製造販売するプリンター、複写機、複合機は当社独自のエコシスコンセプトに基づき製造されています。

京セラミタは、地球環境に与える負荷をもっと低減したいと考え、1992年にオンリートナー方式のエコシスプリンター「FS-1500」を世に生み出しました。以来、私たちはモノづくりの基本として「エコシスコンセプト」を守り続けています。

このエコシスコンセプトとは、特に画像系の心臓部にあたる感光ドラムや現像器といった消耗部品を最大限まで長寿命化し、合わせて周辺ユニットや部品などの長寿命化を進め、機械本体の寿命に至るまでほとんどの部品交換を不要とするものです。この京セラミタ独自の長寿命化技術により、大幅な廃棄物の削減、交換部品代の低減といった環境性、経済性に優れた製品をお客様に提供しています。



●●● 環境保護活動

製品の生産から販売、使用済みになった製品の回収・リサイクルという製品のライフサイクルでの寿命が尽きた後、再び資源として再生されるまでのすべての過程において、環境負荷の少ない製品を作ることこそが、私たちが追求しているモノづくりそのものなのです。

回収・リサイクルの段階でも、単なる廃棄物としてリサイクルするのではなく、次世代への大切な資源として、製品・部品としてのリユースを優先し、循環型社会を形成するための努力を積み重ねています。

製品を生産する製造工場、そして販売拠点のオフィスにおいても、高効率機器の導入や燃料転換などさまざまな省エネ活動の推進を図るとともに、持続可能エネルギーの利用をすすめるため「太陽光発電」の導入や、風力、水力などの持続可能エネルギーで発電されたグリーン電力を使用するなど、資源、エネルギーの削減に向けて引き続きさまざまな取り組みをしてまいります。

京セラミタの全従業員が、全世界に広がる拠点でこれらの活動を通じて、「社会との共生」、「世界との共生」、「自然との共生」に積極的に取り組み、社会的責任を果たすことが持続可能な社会を実現する第一歩と考えます。

私たちは、お客様、市場の皆様から支持されて環境に貢献できる製品を生産・販売できることを誇りに思うと同時に、これからも、さらにレベルの高いCSR経営を目指して取り組んでまいります。

進化したエコシスコンセプトを 体現するスマートMFP

「地球環境に配慮し、長寿命化した製品は、優れた経済性を生み出す」というエコシスコンセプトが打ち出されて約20年。

さらなる社会と環境への貢献を目指し、より進化したエコシスコンセプトを体現したスマートMFPシリーズが誕生しました。

今、世界が企業に求める エコロジーとは

エコロジーが常識となっている今、企業活動は環境への積極的なアプローチなくして成り立ちません。エコロジーな製品・サービスの提供はもちろん、同時にそれらを選び、使うこと自体が、ユーザーにとってどのような環境価値をもたらすのかという進化も要請されています。

世界中から受け入れられた エコシスコンセプト

近年、環境問題への関心が高まるにつれて、京セラミタプリンター独自のエコシスコンセプトに注目が集まり、環境立国ドイツを皮切りに世界各国に浸透。その優れた経済性と負荷の少ない環境性が評価され、エコシス製品は世界中のオフィスで選ばれるようになりました。

新登場 スマートMFPシリーズ

独自の長寿命設計から生まれたオンリーナー方式等、従来のエコシスコンセプトに加え、業界トップクラスの省エネ設計、必要な機能だけを直感的に使えるシンプル・カンタン設計、オフィスの環境をより快適にする小型化や静音設計など、お客様が望む価値を多方面に追求した複合機のシリーズです。

モノクロ
TASKalfa
305/255



カラー
TASKalfa
255c/205c

スマートMFP

ユーザーの声を基本とした スマートMFP開発

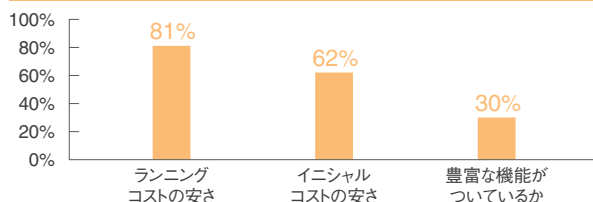
通常の商品開発では、前世代の製品で明らかになった問題点の改善やお客様からの要望、世の中のトレンドにあわせた新しい機能を追加することで仕様はおのずと決定していきます。しかし、スマートMFPの開発においては、そういった製作サイドの思い込みをすべて白紙に戻し、「今、本当にお客様に必要なものは何か」という原点に立ち還りました。

その手始めとして、全世界のユーザーに対してアンケートを実施。実際に複合機を使っているお客様がどう感じているのかを調査し、本当に求められている機能やサービスを明らかにすることからプロジェクトは始まりました。

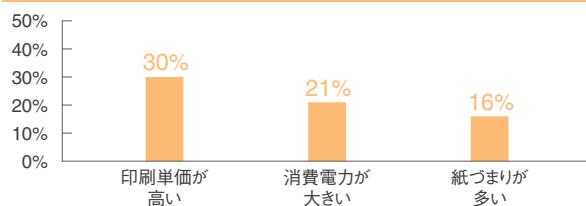


全世界アンケートから見てきたこと

A3複合機を購入する際のポイント



A3複合機に対する不満点



この全世界アンケートによって、低セグメント機を使用するユーザーにおいては、以下のような実態や要望、重視する複合機の機能が浮き彫りとなりました。

- プリンターとしての使用が多く、コピーの使用は少なくなっている
- 現在の複合機には、あまり使わない不要な機能がすぎる
- 誰でもすぐに使えるように操作を簡単にしてほしい
- 消費電力を下げたい
- イニシャルコストを下げたい

これらの声から、マーケット部門と技術部門が合同でコンセプト会議を開始。スマートMFPではどのような価値提供を行うべきなのか、約10ヵ月に渡る議論が重ねられたのです。

新しい価値を持つ スマートMFPの誕生

スマートMFPの開発コンセプトは、綿密な調査と分析、長い議論を経てようやく結論に至りました。それは「これまでのエコシスの強みを活かした長寿命設計を継承し、本当に必要な機能に絞り込み、価格を抑えつつも、ユーザーの企業活動に貢献する省エネ・利便性・快適性を追求する」というもの。このハードルの高い目標を達成する過程では、各開発現場ではさまざまな壁に直面することとなりました。しかし、開発技術者一人ひとりがコンセプトを理解し、本当にいいものをお客様に提供したいというモチベーションを共有することで一つひとつの問題をクリア。全く新しい価値を持つ複合機シリーズが誕生したのです。



生産本部 MFP1事業部 事業部長

橋詰 昌浩

MFP商品開発部門の責任者として、スマートMFP開発プロジェクトを率いる。

WEBは
コチラ！

「社会と環境への優しさを込めて」

京セラミタ スマートMFP

検索

スマートMFPの環境技術

スマートMFPでは、長寿命技術を採用し、交換部品の廃棄量を削減することで、環境負荷の低減とランニングコストの最小化を実現するエコシスコンセプトを継承。加えて、製品の稼働・待機時の消費電力が低減する省エネ設計、製品に使用される原材料そのものの削減、オゾン、ベンゼンなどの有機物の放出が少ない低エミッションなど、さまざまな面で環境に配慮した設計を行っています。



待機中の消費電力 1ワット以下

オフィスで使用される複合機は常に電源が入った状態で待機しており、この待機中の消費電力削減は環境技術において重要な課題となっています。従来のプリンターや複合機ではネットワークの待ち受け中も全システムに電気を送っていましたが、スマートMFPでは必要最低限のものだけに電気を送り、ネットワークのジョブが出されたときだけ他のシステムを起動する仕組みを採用して、スリープ時の電力を削減。待機中消費電力1ワット以下という業界トップクラスの省エネ設計を実現しました。



新開発の省エネコントローラー

コピーやプリントなどの操作を待ち受ける機能と電力を制御する機能にのみ電力を供給することで待機時電力1Wを実現。

稼動時の消費電力の低減

スマートMFPは、コピーやFAX送信時に原稿を照射するスキャナーのランプの光源に白色LEDを使用。この新開発スキャナーを搭載することによって消費電力を従来の1/5程度に低減するとともに、ランプそのものの長寿命化も実現しました。また、用紙上のトナーを熱溶着するための定着システムとして、熱効率の高いIH定着システムを採用。従来のハロゲンヒーター方式より熱変換効率を向上させることで、消費電力削減へとつなげました。



原稿スキャンユニットの光源に白色LEDを採用し、従来のキセノンランプに比べて消費電力を約1/5に削減。



技術本部 MFP2統括技術部

田中 敬

スマートMFPシリーズのモノクロ機を担当。同製品の電気開発・電気設計のリーダーを務める。

WEBは
コチラ!

「社会と環境への優しさを込めて」

京セラミタ スマートMFP

検索

オフィスやユーザーとの調和を 重要視したスマートMFP

全世界アンケートの結果から、オフィスやユーザーとの調和も重要な開発コンセプトに。スマート MFPでは、設置面積の小型化から不快感を与えない静音設計、シンプルかつ簡単でユーザーフレンドリーな操作性の実現まで、ビジネスシーンで求められる複合機の理想形を追求しています。

スマートMFP

静音設計における快適さの向上

小さなオフィスで使われるケースも想定し、マシンのそばにいる人が気にならないように、スマートMFPには最静音設計が施されています。具体的にはマシンの動作時の駆動、紙の搬送、ファン、レーザー scanner ユニットのポリゴンモーターが回転する音などを総合した音響パワーレベルを低減。このクラスナンバー 1 の静音を実現しました。

静音設計のための開発努力

スマートMFPは、動作時でも60デシベルを切る静音を実現しています。この厳しい目標を実現するため、各ユニットの担当者ごとに具体的な音響パワーレベルの目標値を提示。各現場では、さまざまな課題に加えて静音設計への模索が続けられ、その努力が結集して60デシベル以下という数値を可能にしたのです。



技術本部 MFP2統括技術部

小林 竜也

スマートMFPシリーズでは中低速機のモノクロMFPの機械設計を担当。開発全体の騒音の評価を行った。

スマートMFP

直感的でわかりやすい ユーザーフレンドリーな操作性を実現

スマートMFPでは、自社の製品はもちろん他社の製品を置き換えたユーザーにも、直感的でわかりやすい、シンプルかつ簡単でユーザーフレンドリーな操作性の実現を目指しました。そのために、まず簡単操作とはどのようなものであるのかという定義づけからスタート。デモ画面による国内、ドイツ、アメリカのユーザー評価、その検証と改善を重ねました。その結果、ボディのコンパクト化によって操作パネルが小さくなったにも関わらず、より簡単に使いやすいタッチパネルが生み出されたのです。



技術本部 ソフトウェア2統括技術部

瀬戸 彰史

MFPの操作部のソフトウェア開発チームにてチームリーダーを担当。



子どもたちの心の中に 希望の種を芽吹かせたい。

京セラミタでは、未来を担う子どもたちを大切なステークホルダーと位置づけ、
さまざまな社会貢献活動を通して彼らの心に希望の種を送り続けています。

京セラミタが 子どもたちに残したいもの。

美しい地球を子どもたちへ、そしてそのまた子どもたちへと引き継ぐために。京セラミタは、子どもたちに環境問題を伝え、彼ら自身が自発的に環境問題に取り組むよう導くことで、次代の地球の守り手を育成したいと願っています。

京セラミタが考える 子どもたちに伝えたいこと。

環境保護の基本は一人ひとりが地球のために行動すること。京セラミタでは教育・育成プログラムを通して、子どもたちに正しい知識を伝え、自ら地球のために考えて行動する積極的な姿勢を身につけてほしいと考えています。

環境技術に強い 京セラミタが出来ること。

京セラミタはいち早く「自然との共生」を掲げ、環境技術の開発に取り組んできました。地域や社会に「環境技術に強い企業」との信頼をいただく中で、地域と一緒に環境問題を考える取り組みとして、さまざまな育成、教育プログラムを実践しています。



「未来を担う子どもたちのために」

子どもたちの環境意識を育てる Kids' ISO

京セラミタ玉城工場では、三重県庁環境森林部地球温暖化対策室、玉城町教育委員会と協力し、地元小学生の環境に対する意識付けを目的に「Kids' ISOプログラム」の指導に取り組んでいます。

「Kids' ISOプログラム」とは、子どもたちが本来持つ環境への潜在的な気付きから問題意識を引き出し、彼ら自身が家庭や地域のリーダーとなって環境を守る活動に取り組むというもの。2000年に日本でスタートし、その高い教育効果から自治体の環境政策や企業のCSRプログラムとして世界各国へ広がっています。



「Kids' ISOプログラム」への参加は2005年にスタート。インストラクター認定を受けた京セラミタ社員が地元小学生を対象に、特別授業の一環として同プログラムの指導にあたっています。

田丸小学校で行われた Kids' ISO プログラム



プログラム1回目

「家庭での省エネ」等をテーマに、電気・ガス・水道のメーターの場所・見方をレクチャー。



プログラム2回目

家庭でのエネルギーの無駄使いを無くすために、子どもたち自身が作戦を考え実行します。



プログラム3回目

子どもたちの作戦が、家庭のエネルギー消費量の数値にどう影響したのか検証します。



京セラミタ玉城工場
藤川和彦、森末起生、川上善信

京セラミタ講師担当社員の声

この授業を通して 子どもたちに伝えたい。

地球温暖化をくい止めるために、一人ひとり小さな力で皆で出し合えば大きなことができる。そんな気付きと成功体験を子どもたちに持ってもらいたいですね。

子どもたちの声

- この授業はすごく楽しかった
- 地球温暖化がどんどん進んでいることがわかった
- 南極の氷が溶けていてびっくりした
- 家で電気や水道をこまめに消すようになった



田丸小学校
橋本 篤徳先生

実施教室担任教師の声

授業を受けて変化した 子どもたちの意識。

企業の方に教えてもらうことで授業の幅が広がりますし、子どもたちの環境意識も目に見えて高まりましたね。家族を巻き込んで日常に生かせるのがいいと思います。



その他の教育活動

理科大好き! なにわっ子育成事業



「理科大好き“なにわっ子”育成事業」は、文部科学省と経済産業省から委託され、大阪商工会議所が推進しているプログラムです。京セラミタでは、理科の学習意欲の向上を目的とした授業を大阪市内の8つの小学校で行っています。

WEBは
コチラ!

「未来を担う子どもたちのために」

京セラミタ Kids' ISO

検索



社 是

敬天愛人

敬天愛人

常に公明正大 謙虚な心で 仕事にあたり
天を敬い 人を愛し 仕事を愛し 会社を愛し 国を愛する心

経営理念

全従業員の物心両面の幸福を
追求すると同時に、
人類、社会の進歩発展に貢献すること。

経営思想

社会との共生。世界との共生。自然との共生。
共に生きる(LIVING TOGETHER)ことを
すべての企業活動の基本に置き、
豊かな調和をめざす。

京セラフィロソフィをベースにした経営

京セラミタは、京セラグループの経営理念を実現するため、経営の原点である「京セラフィロソフィ」をベースに経営をしています。京セラフィロソフィは、京セラグループ創業者である稲盛和夫の実体験や経験則に基づいた人生哲学であり、「人間として何が正しいか」を判断基準として、人として当然持つべきプリミティブな倫理観、道徳観、社会規範に従って、誰に対しても恥じることの

ない公明正大な経営、業務運営を行っていくことの重要性を説いています。社員が、自ら積極的に京セラフィロソフィを理解し、高い良識のある行動を実践するために、「京セラフィロソフィ手帳」「京セラ行動指針手帳」を、また、会社の実態と進むべき方向性を正しく把握するために「京セラ会計学」手帳を全社員に配付しています。



京セラ
フィロソフィ手帳

京セラフィロソフィ手帳は、京セラフィロソフィのエッセンスを集め、項目ごとに整理しその精神について解説をつけ加えたもので、①会社の規範となるべき規則、約束事 ②企業がめざすべき目的、目標を達成するために必要な考え方 ③企業にすばらしい社格を与える ④人間として正しい生き方、あるべき姿を示しています。



京セラ
行動指針手帳

グローバル化が進む時に在り、企業および企業人には普遍的な理念と透明性の高いルールに基づく良識ある行動、姿勢がもたらわれています。京セラ行動指針は、京セラフィロソフィをベースに企業活動の諸側面に照らし合わせグループ社員が日々業務を行う上で基本とすべき行動指針をさだめています。



京セラ
会計学手帳

会計とは企業経営において目標に至るための“羅針盤”の役割を果たすものであり、企業経営になくてはならない重要なものです。京セラ会計学では一対一対応の原則、ダブルチェックの原則、筋肉質経営の原則など、会社の実態とその進むべき方向を正しく把握するための実践的な会計原則となっています。

WEBは
コチラ!

「京セラミタの経営理念」

京セラミタ 経営理念 CSR

検索

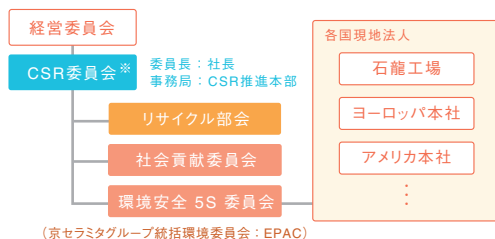
京セラミタグループの CSR理念

京セラミタグループは、「敬天愛人」を社是に、「全従業員の物心両面の幸福を追求すると同時に、人類、社会の進歩発展に貢献すること」を企業経営の根幹としています。人の心をベースとする経営から生まれた「京セラフィロソフィ」により、「公正、誠実、博愛、努力」など、「人間として何が正しいのか」という考え方を規範として、「世のため、人にために尽くす」ことに努めています。

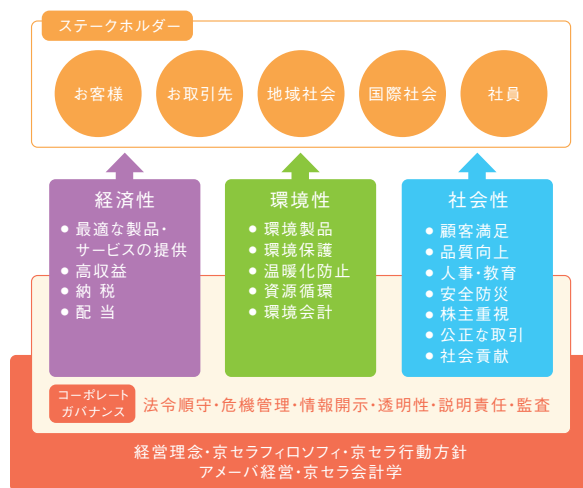


経営理念の実践こそがCSR経営

私たちにとってのCSR経営は、経営の根幹である「京セラフィロソフィ」の実践そのものであり、より良い製品・サービスの提供を行うことで社会の要求に適切に対応し、ステークホルダーの皆様から信頼される存在としてあり続けるよう、高い倫理観を持って、透明性の高い企業経営を続けていくと考えています。



(京セラミタグループ統括環境委員会：EPAC)
※京セラミタグループとして、規制についての取り組み方針を明確にし、その対応を具現化するため、審議決裁機関として「CSR委員会」を設置しています。



CSRへの取り組み

コーポレートガバナンス

▶ コーポレートガバナンス体制

コーポレートガバナンスの機関として、監査役および監査役会を設置しています。また、経営を監視しながら、より健全な経営体質への進化を推進するため、「企業経営の監視」機能を担う内部監査室を設置しています。

▶ 内部監査

内部監査室が隔年で国内外の全連結対象会社を対象に業務監査を実施しています。当社グループには国内外に70を超える連結対象会社があり、2010年度は32の事業所（関連会社および支店）の業務監査を実施しました。

▶ GM研修

2010年度より新たに海外関連会社の責任者（社長、ジェネラル・マネージャー等）を対象としたGM研修を実施しています。2010年度は本家で2回の研修を開催、計9社の責任者が受講しました。2011年度は、18社の責任者を対象に計4回の研修を計画しています。

リスクマネジメント

▶ リスク管理体制

緊急時の対策や被害の最小化を目的とする危機管理マニュアル等の社内規程を全社員に公開。各部門長・事業所長および関連会社の代表者で構成するリスク管理委員会と各組織選任のリスク管理担当者によって多様化するリスクに対応する体制を構築しています。

▶ 情報セキュリティ

情報管理の徹底は、企業の社会的責任を果たす上で重要な責務であると認識しています。当社では、社長をトップとする情報セキュリティ委員会による管理のもと、「個人情報保護基本方針」「情報セキュリティ基本方針」を制定し、管理を徹底しています。

▶ 法令監査

各部門では、まずその部門の自主監査員により、チェックリストに基づくセルフチェックを行い、その結果を監査部門（リスク管理室）が精査。その後、法令本監査が実施されます。2010年度は17の部門・事業所・関連会社に区分して実施しました。

お客様の満足度向上を常に目指して

カスタマーエンジニアは、当社製品をご利用されているお客様に第一線に対応させていただきます。そのため、お客様への言葉遣いや身だしなみには特に気を付けます。また、障害などが発生した場合には、お客様に状況を「正確に」「分かりやすく」お伝えすることを意識しています。それは、お客様の業務にどういった影響があるのかを踏まえた上で、より良い解決策をご提案するためです。尚、いただいたお客様の声は、すぐに関連部署へフィードバックしております。どんな些細なことでも共有することが、その意見を反映した次の製品開発に繋がり、結果的にお客様のためになると考えるからです。「またあの人のお願いしたい」—その言葉をいただくために、日々精進です。



京セラミタジャパン
関西第1統括部

宇澤 充志

お客様のために

京セラミタは、お客様からのお問い合わせやご要望に真摯に耳を傾けて高品質の製品を提供することに全力を挙げて取り組んでいます。また、サービス拠点および販売パートナー様のネットワークにより、迅速・適確なサービスを均一に提供することを基本として、お客様満足度向上に努めています。

…品質保証体制

品質方針

- 1 地球環境・製品安全を最優先する。
- 2 顧客第一に徹し、魅力ある製品・サービスを提供する。
- 3 最初から正しく仕事をし、品質の世界リーダーとなる。

高信頼性の実現に向けて

お客様のもとで製品が常に安定して稼動するよう、開発段階で、国内外の販売会社のスタッフを招き、各国特有の環境や使用方で発生する問題点を合同で評価するとともに、それらを製品が市場に出る前に把握して、約1,000項目のさまざまなテストを行い、改善を図っています。



安全設計審査会

お客様に製品を安全にお使いいただくとともに、製品の安全性をさらに向上させることを目的として「安全設計審査会」を設置しています。製品設計を市場の状況に対応させる必要があるため、品質保証本部は「安全設計審査会」を通して、市場から得た情報を製品の設計に生かすよう努めています。

PL管理規定

当社は製品が販売される対象国の公的機関による製品安全に関連する規制（安全規格・電波規格・回線規格・レーザー規格・環境規制など）への適合はもちろん、当社独自の「京セラミタPL管理規定」を制定し、製品安全確保の対応手順と各部門の役割を明確に定め、事故を未然に防いでいます。

WEBは
コチラ！

「お客様のために」

京セラミタ 品質保証体制

検索

京セラミタのユニバーサルデザイン

京セラミタにおけるユニバーサルデザインへの取り組みは、製品を開発している技術者やデザイナーが、障がいを持った方や高齢者の立場を理解することを基本理念としており、すべての製品において、車椅子や高齢者体験キットなどを使用して製品を検証し、ユニバーサルデザインを考慮した開発を進めています。2011年4月に発売したカラー複合機TASKalfa 5550ciシリーズ、5月に発売したモノクロ複合機TASKalfa 5500iシリーズを例にユニバーサルデザインの一端をご紹介します。



原稿読取後排紙トレイは開口部が広く、読取後原稿の取り出し忘れを防ぎます。



車イスに座ったままで、手の届く高さに開口角度を規制できる自動原稿送り装置。



順手／逆手どちらでもつかめるグリップ式の取っ手を備えています。



傾斜角度を2段階に調整できるため、操作する人の高さに合わせることができます。

お客様満足度向上への取り組み

国内販社である京セラミタジャパンは、お客様からの各種お問い合わせや依頼の受付業務を行うコンタクトセンターと、サービス拠点および販売パートナー様のサービスネットワークにより、迅速・適確で均一なサービスの提供に努めています。

コンタクトセンターの取り組み

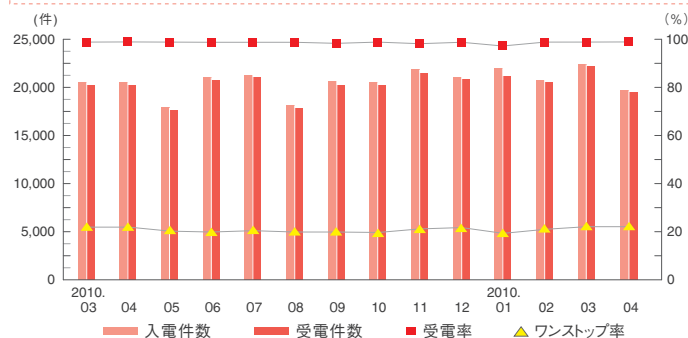
コンタクトセンターでは、迅速かつ適確な対応を行うため、軽微な障害対応については電話対応によるサポートを充実。お問い合わせや障害内容に応じて技術スタッフに伝達し、お客様の稼働装置のダウンタイムの削減を図っています。1日約1,000件のお問い合わせ内容をデータベースに蓄積し、関連部署へフィードバックしています。2011年3月時点では、いただいたお電話の22%を電話対応で即時解決できる体制を構築しました。



2010年度の取り組み

2010年度における、お客様から直接お電話をいただいた際の受電率は98.5%（お電話1,000本中985本が即つながる状況）となりました。なお、電話対応による解決率は2009年度より2.5ポイント向上し、21.1%になりました。また、お問い合わせいただいたお客様に、その後の状況を確認するなどの取り組みを2010年度には3,600件行いました。

コンタクトセンター電話対応推移



カスタマーエンジニアの取り組み

カスタマーエンジニアは、お客様の立場と視点に立った行動を実践しています。お客様への訪問時には、作業完了予定時刻をご報告してから着手するなど、さめの細かいコミュニケーションを心掛けています。また、お客様のビジネス上の困りごとをお聞かせいただき、課題解決の提案をおこなうため、サービス活動終了後にはサービス活動のご報告とお客様の要望を伺うためのコミュニケーションの時間をいただいています。お客様の声にすみやかに対応することでお客様満足度の向上に取り組んでいます。

2010年度の取り組み

お客様の製品を遠隔で監視できる仕組み（ECOSYS NET）を活用して製品の稼働状況を訪問前に確認することにより、消耗部品の予防交換や障害発生の防止、トナーの適時供給が可能になりました。また、お客様の使用環境を詳細に把握することで、装置の最適配置の提案を行う取り組みにも注力しました。

「サービスコンテストCSマスターズ」の開催

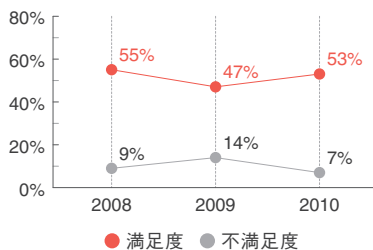
京セラミタジャパンでは、カスタマーエンジニアを対象として、顧客満足度の向上を推進するための「サービスコンテストCSマスターズ」を、2008年から毎年開催しています。このコンテストでは、カラー複合機の実際の修理訪問を場面設定し、入室から退室までのお客様との対応力、障害内容を確認し正しく復旧する技術力、お客様が抱えている課題を解決する提案力の3つの要素について競技審査をします。2010年度のコンテストには、100名が参加しました。



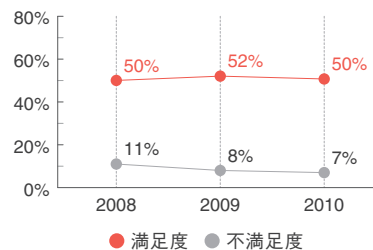
お客様へのアンケートの実施

コンタクトセンター、カスタマーエンジニアの取り組みがお客様にどのように評価されているかを確認するために、2010年度は2回のアンケート調査を行いました。3,000件のお客様へ送付し、600件の回答をいただきました。それぞれが注力して取り組んでいる項目についての評価は、「不満足」の割合は徐々に下降傾向になっていますが、「満足」の割合が一定の水準で止まっているため、さらなる満足度向上への取り組みの強化が必要と考えています。

カスタマーエンジニアの
対応に関する回答



コンタクトセンターの
対応に関する回答



今後の取り組み

お客様で製品を安心してご使用いただくために、遠隔で製品の稼働状況を監視できる仕組み（ECOSYS NET）を導入してきました。2011年度はECOSYS NETの活用度をさらに高め、コンタクトセンターのサポートデスクで障害コールが発生する前に障害発生予測情報をカスタマーエンジニア

へ迅速に連携する仕組みの構築に注力します。また、カスタマーエンジニアは、ECOSYS NETから取得した情報をもとに点検訪問の計画を立てて障害発生の予防保守に注力する方針です。2011年度のECOSYS NET導入は18,000件を計画しています。

お取引先との「自利・利他」の関係を構築する

独創的で高品質な新製品の開発には、高性能な部品の存在が不可欠です。だからこそ、部品のご提供をお願いするお取引先は、当社にとって大切なパートナーだと考えています。そのため、単純なことですが、「お取引先の立場で考える」ことを大切にしています。お取引先の意見をしっかりと伺い、その上で京セラミタの考えをお伝えする。意見の異なる場合でも、その理由をご納得いただけるまで説明させていただく。そういった普段の取り組みが、最適な品質・コスト・安定供給を実現し、より深いパートナーシップの構築に繋がるのだと思います。共に高品質な製品を開発・生産・販売していき、お取引先との「自利・利他」の関係を(WIN-WINの関係を)構築できるよう、心掛けていきます。

資材本部
第1資材部

奥野 洋介

お取引先とともに

京セラミタではお取引先を重要なパートナーと位置づけ、公平・公正な取引を実行しています。一方、CSR調達を推進するため、購買活動の基本的な考え方を「京セラミタ購買基本方針」として明文化し、法令の順守や環境保全活動などのお願い事項として、全お取引先へ文書として配布しています。

…購買活動の基本的な考え方

京セラミタの購買基本方針

- 1 購買部門は、公正正大を旨とし「自利利他」の精神と、信頼関係に基づくお取引先とのパートナーシップの構築・発展に努めます。
- 2 購買活動において、各国の法令を順守するとともに、地球環境保全・資源保護などの社会的責任を果たしていきます。
- 3 国内外すべての企業に、公平な機会を設け、公正な評価基準のもとに購買活動を行います。
- 4 市場に最良の商品を供給するために、最適な品質と価格の追求、安定供給の確保について、お取引先とともに努力をし続けます。

お取引先との連携によるCSR調達の推進

お取引先におけるCSR調達の状況については、国内の各社の推進状況の調査ならびに結果の分析・評価を終了。海外のお取引先には、「京セラミタ・サプライチェーンCSR推進ガイドブック」「京セラミタ・サプライチェーンCSR推進チェックシート」により、お取引先ご自身で自社の推進状況をチェックし、現状を再認識いただくことをお願いしています。

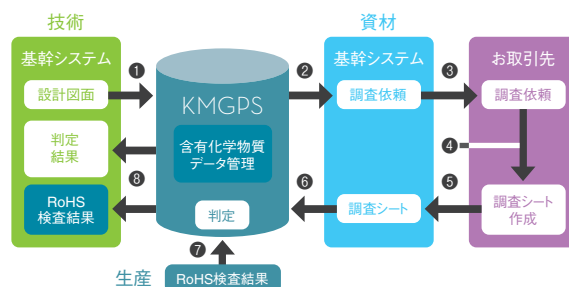
公正・公平な取引の実施

お取引先を専門知識と技術を持つ必要不可欠のパートナーと考え、当社もお取引先にとってよきパートナーであることを目指し、京セラフィロソフィをベースとした共存共栄を追求しています。

グリーン調達システム

化学物質調査を確実に効率よく行うことを目的として、2007年から化学物質データベースKMGPS(Kyoceramita Green Procurement System)を導入・運用し、技術系、生産・資材系の基幹システムとも連携させています。お取引先の協力のもと、2011年3月までに23万件を超える調査を実施しました。2011年はREACH規則※にも対応可能となるよう検討を進めていきます。

※REACH規則：欧州における化学物質の登録、評価、認可及び制限に関する規則。



仕事も家庭も、充実した ワーク・ライフ・バランス

「利用してほんとに良かった!」そう強く思います。

私は育休制度と時短制度を利用しています。そのおかげで育休制度では子どもが1歳になるまでゆっくりとした時間を過ごすことが出来ましたし、時短制度では家事や育児の負担が軽減できています。実際はなかなか取得しづらいという話をよく耳にしますが、当社の場合は取得した先輩社員の多さや、周囲のサポートの大きさなどが後押しになり、とても取得しやすい環境でした。その分「仕事できちんとした成果を出さなければ」と思うので、やりがいを持って仕事に取り組むことができます。また、家庭でも「仕事で離れていた分、しっかり愛情を注ぐ」と思うので、仕事に家庭に、メリハリが効いて毎日がとても充実しています。

生産本部
化成品事業部

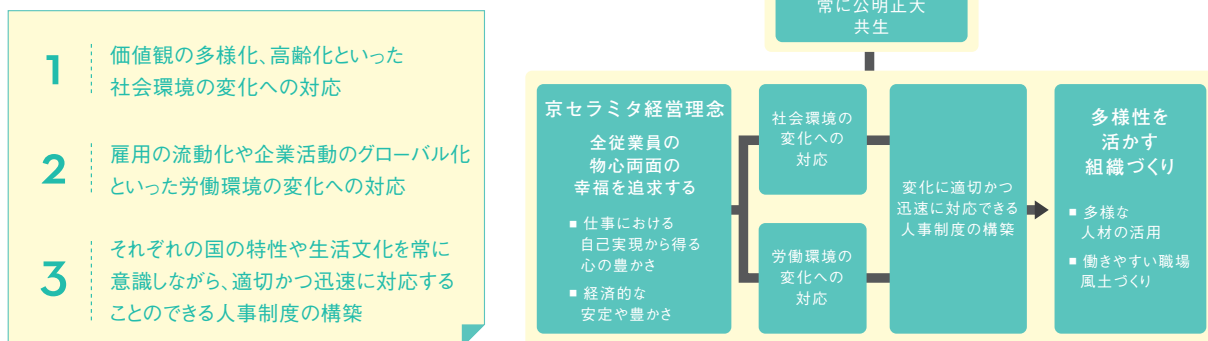
友永 歩美

社員とともに

京セラミタの経営理念に「全従業員の物心両面の幸福を追求する」とある通り、当社グループは、社員が経済的な安定や豊かさだけでなく、仕事を通じて心の豊かさを実現することを目指しています。

… 人事の基本的な考え方

■ 人事基本方針 概念図



多様性を活かす組織づくり

意欲と能力を持つ多様な人材に幅広く活躍の機会を提供するとともに、働きやすい環境の整備や仕組みづくりに積極的に取り組んでいます。年に1回実施している自己申告制度は、より活力ある職場を形成する取り組みの一つであり、個人のキャリア形成を見つめ直す機会としても活用しています。

制度の充実

社会人として働きがいのある人生を送るためには、家族を大切に、仕事と家庭を両立させることが大変重要です。京セラミタでは、全社員がいきいきと働き、有意義な社会人生活を送ることができるように、9連続休暇やリフレッシュ休暇、多目的休暇制度を導入するなど、休暇制度を充実させています。

WEBは
コチラ!

「社員とともに」

京セラミタ 社員とともに

検索

VOICE : 海外研修生のメッセージ

営業本部 中西 隆之

異文化を理解し
今後の業務に生かしたい。

入社以来いつか海外関連の業務に就きたいと思っていましたので、海外短期研修制度にはすぐに応募しました。私が5ヵ月間を過ごした京セラミタイギリスは、事業所の責任者以外はすべて現地スタッフ。話す内容、考える手順、それに対するアプローチの仕方など、異文化での生活に新鮮な驚きを感じるとともに、貴重な経験をすることができました。



・・・イキイキと働ける職場づくりのために

社員教育

2010年度定期採用の新入社員には70日の基礎研修を実施しました。一般社員向けには「経営学講座研修」は継続展開し、2010年度は延べ1,881名が受講しました。経営幹部の養成を目指すマネジメント教育では、京セラフィロソフィに基づく経営管理手法である「アメーバ経営」「時間当たり採算制度」の習得を目的とする「京セラ経営学講座」を実施しています。

■ 2010年度の実績（経営学講座）

受講対象者	研修名	受講者数
一般社員	経営学講座 第7回	957名
一般社員	経営学講座 第8回	924名

福利厚生

社員間のコミュニケーションの向上や、社員の健康促進、近隣の方々との交流を目的として、スポーツ大会や納涼祭をはじめとするレクリエーション活動を行っています。運動会は国内の全事業所で開催され、2010年度は総勢約2,200人が参加。チームで一体となり勝利に向けて取り組みながら、健康増進と団結力の向上につなげています。



健康保持・増進への取り組み

社員の心身の健康保持・増進を目的として、全国5カ所に健康管理室を設置し、産業医や保健師などによる健康相談を実施するとともに、社内報での健康情報の提供や、メンタルヘルスケアに関する階層別研修などを実施しています。また、当社グループでは50名以上の事務所については、どの職場からも5分以内にAEDが使用できるように配置しました。



労働安全衛生の基本的な考え方

社員が健康で安心して働くことを事業活動の大前提として労働安全衛生方針を定め、全員参加による労働安全衛生活動を実践し、社員の負傷や疾病の予防を推進しています。OHSAS18001システムに基づく国内京セラミタ5事業所での2010年度の“労働安全衛生推進計画”はすべて完了しました。

防火防災活動への取り組み

京セラミタグループ全体で、防火防災管理の強化に取り組んでいます。各事業所では、防災管理組織の活動を活性化させて、防火防災教育や、自衛消防組織の訓練を行い、社員の防災意識の向上に努めています。

社会貢献活動で 世界に広げる「笑顔の種」

京セラミタの「社会貢献委員会」の活動は5年を経過し、青少年育成の健全な育成に軸足をおきながら、絶滅種の保護活動・外来種の駆除などの生物多様性保全活動にも挑戦を始め、少しずつ、確実に各事業所の地域的な特徴を生かした自律的な活動に広がっています。京セラミタでは「全従業員の物心両面の幸福を追求する」ことを社是とし、「社会との共生」「世界との共生」「自然との共生」を経営理念としています。この社会とのつながりが、私たちの心をより豊かにしてくれると信じ、全世界のグループ企業で、環境保護や社会貢献活動を積極的に押し進めていきます。社員一人ひとりの心を高め、「今できる何かへの一歩」を踏み出す勇気を、社会貢献活動の中で育てていきたいと思っています。

CSR推進本部
CSR推進部 部長

猪子 雅美

社会貢献への 取り組み

京セラミタは、お客様やお取引先様、地域の皆さまのご支援を受けて発展してまいりました。私達は皆さまのご支援に対する感謝の気持ちを込めて、2007年5月に「社会貢献委員会」を発足させました。当社の社会貢献活動は、「利他」の心を大切に、「青少年の健全な育成に寄与すること」を重点に活動しています。

…社会貢献委員会の活動方針

- | | | | |
|---|----------------------------|---|------------------|
| 1 | 地域に密着した
身近な活動に取り組む | 4 | 環境保全に
役立つ取り組み |
| 2 | 一時的でない、
継続して取り組める活動 | 5 | 社員が
参加できる取り組み |
| 3 | 未来を担う子ども達の育成、
教育に関連した活動 | | |

社会貢献委員会の組織

社会貢献委員会は社長を委員長として、副委員長、事務局をCSR推進本部に置いています。委員会の組織は、活動分野ごとに ①青少年育成分科会 ②社会福祉分科会 ③環境保全分科会 ④人道・災害分科会 ⑤規定分科会の5つの分科会があり、活動地域の各事業所から部門毎に選出された社会貢献委員はいずれかの分科会に属して活動する、マトリクス構造になっています。

東日本大震災支援活動

東日本大震災で被災された方々に対して、国内外の京セラミタグループ拠点で社員から義援金を募り、2011年4月6日時点で世界18カ国から合計約1,750万円の義援金が集まりました。各国の支援団体などを通じて被災地支援に役立てられます。また会社としては、京セラグループ全体で1億円の寄付を行いました。一方、物的支援を行うため、社員一人ひとりが自宅にある物資を持ち寄った結果、タオル1,198枚、毛布73枚、食料品・飲料水1,126点が集まり、被災地に向けて送りました。京セラミタドイツがスポンサーを務めるドイツのプロサッカークラブも約288万円を寄付。試合でも義援金を呼びかけ、約54万円が集まりました。



青少年育成分科会

高校生を対象に環境出前授業

2010年11月18日、NPO法人「ひらかた環境ネットワーク会議」が行政・団体・企業に参加を呼びかけた環境出前授業が、枚方なぎさ高等学校で開催されました。当社枚方工場も「企業の環境への取り組み」を担当。枚方工場の概要、環境目標への取り組みやその結果、リユース・リサイクル活動について発表し、「日ごろのリサイクルが必要だと思った」等の感想をいただきました。



環境保全分科会

コウノトリ保護活動に協賛

兵庫県豊岡市では、「コウノトリの棲める環境が、人間にとっても安心な、真に豊かな持続可能な社会である」とのビジョンのもと、絶滅の危機にあるコウノトリを保護する活動に取り組んでいます。京セラミタは、この活動に賛同してコウノトリの餌となる小動物のいる湿地の回復維持のため、戸島湿地周辺に繁殖する外来種の孟宗竹を伐採し、広葉樹の森を再生する活動に取り組んでいます。



人道・災害分科会

献血活動

京セラミタでは、献血活動を継続しており、2010年度は、5月と11月に本社、6月と12月に玉城工場、11月に枚方工場において実施し、延べ466名が協力しました。日本赤十字社からは、「毎年、たくさんの方に協力いただきとても助かります」と感謝の言葉をいただきました。今後も継続して実施していきます。



社会福祉分科会

養護施設の児童を
京セラドーム大阪の野球観戦に招待

2010年8月28日、大阪市内2カ所の児童養護施設の子どもたち30名を、京セラドーム大阪で行われたプロ野球観戦に招待しました。この企画は今回で6回目となり、延べ参加数(引率者を含む)は160名を超えました。京セラミタでは、この取り組みを大切にしており、今後も継続していく予定です。



海外事業所の取り組み

京セラミタ タイランド

洪水被災者へ食料を寄付

京セラミタタイランドは、2010年10月にタイで発生した洪水の被災者のために募金活動を行い、集まった39,524パーツ(約11万円)で食料を購入し寄付しました。



京セラミタ イギリス

恵まれない子にサッカーシャツを寄付

京セラミタイギリスは2010年11月、プロサッカーチームと協力してサッカーユニフォーム200着を慈善団体に寄付。これらは南アフリカの恵まれない子どもたちに贈られました。



「製品を守る」包装から、 「環境も守る」包装へ。

「製品の保護」という包装に求められる機能。「使用する素材の最小化」という環境配慮に求められる命題。この二つを両立させるのは、容易なことではありません。しかし、製品が環境配慮である以上、包装も環境配慮にシナジーを求め、チャレンジを続けてきました。その甲斐あって、当社の包装は日本パッケージングコンテストで8年連続受賞しております。今後も、今まで積み重ねてきたノウハウの上に、「これが京セラミタの包装だ」とひと目でわかってもらえるような、新しい包装を打ち立てていきたいですね。

技術本部 MFP2統括技術部

中村 敏之 / 板野 篤

環境保全活動

京セラミタでは、素材調達から製造・リサイクルにいたるまでのすべての過程において、環境負荷の低減とトータルコストの削減を同時に実現するエコシスコンセプトによるものづくりを行っています。この考えをさらに深化させ、環境と経済が調和する持続可能な社会の実現に貢献していきます。

…基本的な考え方

環境に優しく経済的。長年培ってきたエコシスコンセプトに基づく長寿命、オンリーワン設計は、エコシスプリンターだけでなく、TASKalfaシリーズに代表される複合機を含む当社全製品の開発コンセプトとして貫いています。また、新製品開発や技術開発において、「エコシスブランドにふさわしい、卓越した環境配慮型製品の実現」を製品開発の基本方針とし、部品のさらなる長寿命化、省エネルギー対応、3R設計等、さまざまな面において環境性能の向上を目指しています。

- | | |
|---------------------|--------------|
| ■長寿命化による消耗部品の廃棄削減 | ■部品点数の削減 |
| ■低消費電力設計 | ■リサイクル樹脂の採用 |
| ■トナー消費量の削減 | ■VOC排出量の削減 |
| ■バイオトナーの開発 | ■低騒音設計 |
| ■製品本体の小型、軽量化 | ■オゾンフリー設計 など |
| ■廃棄時のリユース、リサイクルの容易化 | |



長寿命化技術

プリンターでは通常、一般的な感光体であるOPCドラムの寿命が短いため、数万枚の印刷で感光ドラムや周辺の部品を交換する必要があります。しかし、京セラミタは耐久性にすぐれたa-SiドラムとOPCドラムの両方を採用。また、2010年に発売したTASKalfa 205c/255cなどに搭載される当社独自開発のPSLPドラムは、OPCドラムながら20万枚の寿命を実現しました。一方、TASKalfa 255/305などに搭載した当社独自のa-Siドラムは、エコシスプリンター開発当初から30万枚のロングライフを実現したキーテクノロジーです。さらに2011年発売のTASKalfa 5500i、5550ciなど中高速のモノクロ／カラー複合機に搭載した新開発のa-Siドラムは従来比2倍の60万枚を実現しました。

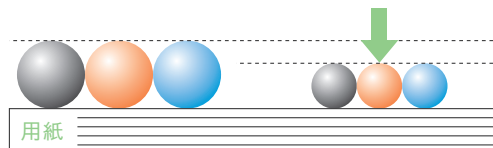


…環境配慮製品の開発

トナー消費量の削減

京セラミタのプリンターにおいて唯一の消耗品であるトナーも、画像品質を維持、向上させつつ、その消費量の削減を図ることで、地球温暖化の原因となる温室効果ガスの排出量を抑制しています。2009年以降発売の新製品からは、粒子形状が均一で滑らかな新開発のトナーの採用により、画像精細度を向上させ、高画質化を図るとともに、小粒径化により、従来のトナーに比べ、同じ画像濃度でもトナーの消費量を30%低減しています。

トナー小粒径化により、消費量も**30%ダウン**



VOC排出量の削減

1997年、環境先進国・ドイツのエコマーク「ブルーエンジェル」を取得（プリンターで世界初）。当社製品はすべての基準をクリアし、温室効果ガスの低減やVOC*排出量を削減しています。

*VOC:揮発性有機化合物。Volatile Organic Compoundsの略称。
塗料、印刷インキ、接着剤、洗浄剤、ガソリン、シンナーなどに含まれる。



バイオカラートナーの開発

当社が開発したバイオカラートナーは、原材料の約30%に植物由来原料を採用することで、従来の石油由来原料のものと比較し廃棄焼却時のCO₂排出量を削減を可能にしました。



…省資源・資源循環への取り組み

京セラミタは日本国内に8カ所の回収センターとリサイクルセンターを設置し、不要になった製品、トナー容器を回収、リサイクルしています。2010年度は、製品本体・トナー容器を合わせて2,050tの使用済み製品を回収し、ほとんどを再使用あるいは再資源化しました。（2010年度再資源化率:99.9%）

トナー容器の再使用

2010年度は603tのトナー容器を回収し、約5%にあたる29t（10万5,000本）を再使用しました。



PickUP! 包装WorldStar受賞

環境配慮の包装が国内外で連続受賞

製品がお客様の手に届いた時点で役割を終える包装は、環境負荷が少なくリサイクルしやすい素材（紙系包装材）を必要最小限使うことが環境配慮だと考え、大胆な発想転換で技術的な課題をクリアしてきました。その絶えざる取り組みが評価され、2010年度、3年連続で5回目のワールドスター賞を受賞するとともに、日本で最も権威のある2011年度日本パッケージコンテストでも2作品が受賞し、8年連続受賞の栄誉に輝きました。



WEBは
コチラ!

「環境配慮製品の開発」

京セラミタ 環境配慮製品

検索

世界各国で様々な 取り組みを行っています。

ECOLOGY 環境活動

国内外の京セラミタグループ各社では、
地球温暖化防止と社会貢献の側面から、積極的に活動を展開しています。



期待通りに節電と採光の効果をあげ、立派なゴーヤも収穫できました。

01

枚方工場 緑（ゴーヤ）のカーテン

地球温暖化防止や暑気対策の一つとして「緑のカーテン」の普及を促進する地元・枚方市の主旨に賛同し、枚方工場は2010年度の春先、工場食堂の南壁面にゴーヤを植えました。この取り組みは「緑のカーテンコンテスト」結果として市のホームページで紹介されました。

02

本社・枚方工場 「蠡斯（しゅうし）の池」保全活動に参加

2011年4月、滋賀県の当社所有地にある「蠡斯（しゅうし）の池」の保全活動に社員4名が参加しました。蠡斯とはイナゴのこと。明治期に掘られたため池に生息するフナやメダカなどを守る活動に参加した参加者は、絶滅の危機に瀕しているアマガエルやメダカが遅く生きる姿を目にし、自然を守る大切さを学びました。



滋賀県高島市今津町に整備された
ビオトープ「しゅう
し（蠡斯）の池」

03

玉城工場 省エネへの取り組み

玉城工場のターボブロア（送風機）を、ルーツ式ブロアに更新しました（2010年度は5台）負荷の変動に伴う風量の制御を、駆動モータをインバータ化することで電力消費を大幅に削減。導入前と比較してCO₂削減量は約60%減の464.4t-CO₂/年（排出係数0.470kg-CO₂/kwh）となりました。

玉城工場トナー製造ラインに更新された、インバータ制御のルーツ式ブロア



04

京セラミタ タイランド マングローブの植樹活動

2010年6月、京セラミタタイランドの社員60名が、「地球温暖化防止に貢献したい」との思いから、2008年バンコク郊外の植物公園でマングローブの植樹活動を続けており、2010年度は150本以上を植樹しました。



バンコク郊外の植物公園で、マングローブの植樹活動をする京セラミタタイランドの社員



ハイキングコース周辺の清掃活動を行い、台北市から感謝状を授与されました



05

京セラミタ 台湾

ハイキングコースの ボランティア清掃活動に参加

2010年9月、京セラミタ台湾の台北事務所全社員50名が、台北市政府環境保護局が主催する「2010年度親山淨山活動」に参加し、台北市内にある白鷺山、康楽山のハイキングコースのボランティア清掃活動を行いました。

06

香港 グループ会社

香港北東部・吉澳島の海岸清掃活動

京セラミタ香港物流会社、京セラミタ香港販売会社、および2010年9月から業務を開始した京セラミタアジアの社員総勢141名は、2010年11月、香港北東部にある吉澳島の海岸の清掃活動を行いました。3社の社員は「今後もこのような社会貢献活動が続けたい」と語っています。



香港北東部・吉澳島の
海岸を清掃する社員



シドニー郊外のクリスティー公園で清掃活動をする社員



07

京セラミタ オーストラリア

「ビジネス・クリーンアップ・デイ」に参加

京セラミタオーストラリアと京セラソーラーの社員14名が、2011年3月、オーストラリア全土で行われる企業主体のボランティア清掃活動である「ビジネス・クリーンアップ・デイ」に参加しました。京セラミタオーストラリアは2000年から毎年この清掃活動に参加しており、11年目となります。

08

京セラミタ イギリス

年間最優秀ハードウェア 製品部門最優秀賞を受賞

英国のGreen IT Magazine社が主催するGreen IT Magazine Awardsにおいて、当社のA4カラーエコシスプリンター FS-C5250DNが「年間最優秀ハードウェア製品」部門において、最優秀賞を受賞しました。今回の受賞は、環境性能を主眼に置いた開発の成果です。



受賞セレモニーの
京セラミタイギリス社員
写真右端
ヘレン・ホッパー
右から2人目
トレーシー・ローリング・チャーチ

事業概要

主要拠点

京セラミタヨーロッパ統括

〈販売会社・支店〉

京セラミタ ヨーロッパ本社(オランダ)
 京セラミタ ヨーロッパ スイス支店
 京セラミタ ヨーロッパ 中東支店(UAE)
 京セラミタ ドイツ
 京セラミタ イギリス
 京セラミタ フランス
 京セラミタ イタリア
 京セラミタ オランダ
 京セラミタ ベルギー
 京セラミタ スペイン
 京セラミタ ポルトガル
 京セラミタ オーストリア
 京セラミタ ロシア
 京セラミタ 南アフリカ
 京セラミタ ノルディック(スウェーデン)
 京セラミタ ノルディック ノルウェー支店
 京セラミタ デンマーク
 京セラミタ フィンランド

京セラミタ
ヨーロッパ本社
(オランダ)

京セラミタヨーロッパ統括地域

京セラミタ
石龍工場

京セラミタ
香港物流

京セラミタ本社統括地域

グループ会社

TAトリアンフアドラーグループ(ドイツ)

研究開発拠点

京セラミタ 本社R&Dセンター(大阪)
 京セラミタ 東京R&Dセンター(東京)
 京セラ テクノロジー・デベロップメント(アメリカ・北カリフォルニア)
 京セラ テクノロジー・デベロップメント(アメリカ・南カリフォルニア)
 京セラミタ テクノロジー・デベロップメント フィリピン

生産物流関連事業所

京セラミタ 石龍工場(中国)
 京セラミタ ベトナム工場(2012年稼働予定)
 京セラミタ 香港物流
 京セラミタ 玉城工場(三重)
 京セラミタ 枚方工場(大阪)

会社概要

社 名 京セラミタ株式会社(KYOCERA MITA Corporation)
 本 社 〒540-8585
 大阪市中央区玉造1丁目2番28号
 TEL.06-6764-3555(大代表)
 代表者名 代表取締役社長 駒口 克己
 創 業 1934年11月
 設 立 1948年7月(三田工業株式会社)
 2000年1月18日 京セラミタ株式会社へ社名変更
 資 本 金 120億円(京セラ株式会社100%)
 年 商 2,390億円(京セラミタグループ連結売上2011年3月期実績)
 従業員数 14,667人(京セラミタグループ全体2011年3月末現在)
 国内:販売会社1社
 海外:販売会社28社、生産会社1社、物流会社1社
 その他関連会社42社
 ※資本金、年商の記載金額は億円未満は四捨五入しています。

国内事業所 東京R&Dセンター
 〒158-8610
 東京都世田谷区玉川台2丁目14-9
 TEL.03-3708-3851
 関連会社 京セラミタジャパン本社
 〒158-8610
 東京都世田谷区玉川台2丁目14-9
 TEL.03-4232-2100



京セラミタ本社統括

〈事業所〉

京セラミタ 本社(大阪)

〈販売会社〉

京セラミタ ジャパン

京セラミタ オーストラリア

京セラミタ ニュージーランド

京セラミタアメリカ統括

〈販売会社・支店〉

京セラミタ アメリカ 本社

京セラミタ アメリカ ニュージャージー支店

京セラミタ アメリカ イリノイ支店

京セラミタ アメリカ カリフォルニア支店

京セラミタ アメリカ ジョージア支店

京セラミタ アメリカ テキサス支店

京セラミタ カナダ

京セラミタ メキシコ

京セラミタ ブラジル

京セラミタアジア統括

〈販売会社〉

京セラミタ アジア本社

京セラミタ 韓国

京セラミタ 香港

京セラミタ 台湾

京セラミタ タイランド

京セラミタ シンガポール

京セラミタ インド

石龍工場(中国 広東省)



現地法人名 京セラミタ
弁公設備(東莞)株式会社
所在地 広東省東莞市
従業員数 6,801名(2011年3月現在)
敷地面積 147,600㎡
事業内容 複合機、プリンター、感光ドラムの生産

玉城工場(三重県)



所在地 三重県度会郡
玉城町野篠字又兵衛704 -19
従業員数 276名(2011年3月現在)
敷地面積 101,511㎡
事業内容 プリンター・付属機器およびトナーの生産

枚方工場(大阪府)



所在地 大阪府枚方市
津田北町1-38-12
従業員数 271名(2011年3月末現在)
敷地面積 46,018㎡
事業内容 複合機・プリンター・付属機器・ドラムおよびトナーの生産メンテナンスパーツの統括拠点



京セラ ミタ株式会社 KYOCERA MITA Corporation

〒540-8585 大阪市中央区玉造1丁目2番28号

TEL:06-6764-3555(大代表)

お問合せ先:CSR推進本部

<http://www.kyoceramita.co.jp>

記載内容は2011年9月現在のものです。

©2011 KYOCERA MITA Corporation